

財務諸表に対する注記

令和 2年 10月 1日 から令和 3年 9月 30日 まで

1. 継続組織の前提に関する注記

継続事業の前提が適切であるかどうかを総合的に評価した結果、貸借対照表日において単独で又は複合して継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況が存在するとは認められません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

簿価純資産価額により計算しております。

(2) 消費税等の会計処理

税込経理をしております。

3. 会計方針の変更

ありません

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金 (基)	0	0	0	0
定期預金 (基)	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
公益事業実施有価証券	150,000,000	0	0	150,000,000
奨学資金積立金	16,250,000	0	0	16,250,000
小 計	166,250,000	0	0	166,250,000
合 計	169,250,000	0	0	169,250,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
普通預金(基)	0	0	0	0
定期預金(基)	3,000,000	3,000,000	0	0
小 計	3,000,000	3,000,000	0	0
特定資産				
公益事業実施有価証券	150,000,000	150,000,000	0	0
奨学資金積立金	16,250,000	16,250,000	0	0
小 計	166,250,000	166,250,000	0	0
合 計	169,250,000	169,250,000	0	0

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
特定資産配当金振替額	20,000,000
合 計	20,000,000